

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	オブジェクト指向プログラミング						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	八尋秀一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> 既存のクラスを継承したり、インターフェースを実装して新しいクラスを作ることが出来る。 例外の意義を理解し、例外の送出、受け取り、表示などの例外処理を行うことが出来る。 ストリームを利用して簡単な入出力を行うことが出来る。 スレッドの概念とそれを利用した並列処理について知っている。 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法</p> <p>第2回：クラスの基本的構造について復習する。</p> <p>第3回：新しいクラスを定義するための継承の概念と応用について説明する。</p> <p>第4回：メソッドのオーバーライドについて説明する。</p> <p>第5回：スーパークラスの変数やメソッドをサブクラスから使用できるようにする方法、オーバーライドを許さないための方法、そして、Objectクラスの役割とそのメソッドについて説明する。</p> <p>第6回：抽象クラスと役割、オブジェクトが所属するクラスを判定するメソッドを説明する。</p> <p>第7回：インターフェースの概念と役割、インターフェースの実装、抽象クラスとインターフェースとの相違、インターフェースの継承について説明する。</p> <p>第8回：多重継承の概念を説明する。クラスとインターフェースを用いた多重継承について説明する。</p> <p>第9回：パッケージとアクセスコントロール、パッケージの階層関係とパッケージとフォルダーの関連、パッケージ名を用いたクラス名とインポートによる簡略化について説明する。</p> <p>第10回：例外の仕組みと例外の処理方法、例外を表すクラスについて説明する。</p> <p>第11回：ストリームの概念と入出力の考え方を説明する。入出力に伴う例外について説明する。</p> <p>第12回：ファイルからの入出力とそれに伴う例外について説明する。</p> <p>第13回：スレッドの仕組み、作成方法、同期方法などを説明する。</p> <p>第14回：アプレットの仕組み、簡単なグラフィックスの方法などを説明する。</p> <p>第15回：総合演習－演習課題を提示しプログラミング演習を行う。</p>						
成績評価基準	定期試験	80%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	20%	プレゼンテーション				
	課題演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	学生たちの授業における熱意がやや不足しているように思われるが、何とか目標の70パーセントは達成したのではないかと考える。						
反省点	わかり易い授業に心がけているつもりであったが、空回りした部分も少なくない。						
来年度の計画	授業の進行度をシラバスに沿って厳密に守りながら、導入に気を遣うようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	概ね、平均的評価であった。理解しやすい授業を心がけたい。						
履修登録者数	47名	定期試験 受験者数	46名	合格者数	46名	合格率	100%